

	オランダ (フードバレー財団)	ベルギー (フランダースバイオ)
	「意思決定部門」、「経営管理部門」、 「実行部門」で構成。	「意思決定部門」、「経営管理部門」、 「実行部門」で構成。
体制	〈意思決定部門〉 ・理事会（理事10名、顧問3名） 〈経営管理部門〉 ・マネージング・ディレクター1名 〈実行部門〉 ・プロジェクト担当：8名 ・コミュニケーション担当：2名 等の専門家（計17名）	〈意思決定部門〉 ・理事会（理事18名、顧問1名、幹事1名） 〈経営管理部門〉 ・マネージング・ディレクター1名 〈実行部門〉 ・プログラム担当：3名 ・コミュニケーション・コーディネーター：1名 等の専門家（計6名）
重点分野	【オランダ政府の重点分野】 ①農業・食品、 ②施設園芸 ③流通、 ④生命科学・健康 ⑤水 ⑥ハイテク材料 ⑦創造的新産業 ⑧エネルギー ⑨化学品	【フランダース政府の重点分野】 ①農業 ②食品 ③医薬品
運営費 (内訳)	○2004年の組織立ち上げ時の支援状況については 調査中。 ○現状については以下のとおり。 ・EUからの資金（国はEUに資金拠出） ・州政府からの補助金 ・会員企業（142社）からの会費収入 ※金額は非公開	2004年の組織立ち上げ当初から現在まで継続的に、 フランダース政府から毎年運営費の4割程度の補助 金を受領。 ・フランダース政府からの補助金： 40万€ ・戦略パートナー（国立研究機関ほか）からの出資： 15万€ ・会員企業（約300社）からの会費収入：40万€ ・イベント等からの収入（出展料等）： 35万€ 計135万€

# オランダについて

## オランダ政府（オランダ経済省）

情報交換

## フードバレー財団

### フードバレー財団

役割：民間企業支援を担う機関  
（関係者間のマッチング促進、スタートアップ企業等の支援等）

設立：2004年 / 会員：142社 / 職員：18名  
予算：欧州連合（政府は欧州連合に資金を拠出）及び地方政府からの拠出、会員企業からの会費収入。

プロデューサー的人材：  
プロジェクト担当（8名）、  
コミュニケーション担当（2名）  
※ 民間企業経験者など、基本的に組織外から確保

国内外の大学・研究機関  
と民間企業との橋渡し

橋渡しの相談

補助金の支出

実績報告

## ワーヘニンゲンUR

### ワーヘニンゲン大学

役割：教育・訓練を担う機関  
予算：約3億ユーロ（政府6割近く、残りは受託・授業料等）  
学部：農業技術・食品科学部、動物科学部、環境科学部、  
植物科学部、社会科学部  
学生：約1万人（学部・修士・博士）  
教職員：約3,500人  
研究分野：基礎・戦略的研究

### ワーヘニンゲン・リサーチセンター

役割：研究を担う機関  
予算：約3.3億ユーロ（政府4割、残りは受託等）  
部門：食品・バイオ研究、家畜研究、Alterra（環境科学）、  
国際・応用植物研究、LEI（社会科学）  
※関連機関として7カ所等を設置  
職員：約3,000人（研究者・技術者等）  
研究分野：戦略的・応用研究（公開・非公開）

委託・共同研究の依頼・実施

研究資金

## 民間企業（国内／海外）

委託・共同研究の実施、会員イベント等への参加、ネットワーク化の促進等

# ベルギーについて

## フランダース政府

予算の支出 ↓

↑ 実績報告

実績報告 ↑

補助金の支出 ↓

予算の支出 ↓

↑ 実績報告

### フランダースバイオ

役割：民間企業支援を担う機関  
バイオ産業におけるファシリテート  
設立：2004年 / 会員：約300社 / 職員：7名  
予算：130万ユーロ（政府3割、戦略パートナー1割、イベント等収入2割半、会費3割）  
プロデューサー的人材：  
プログラム担当（3名）、  
コミュニケーション・コーディネーター（1名）  
※ 民間企業経験者など、基本的に組織外から確保

### V I B（フランダースバイオ研究機関）

役割：研究を担う機関  
予算：約1億ユーロ（政府約4割、残りは受託等）  
体制：8部局・76研究グループ（パートナー大学含む）  
職員：約1,500人（研究者・技術者等・世界66か国）  
評価：5年ごとに政府がKPI※に基づき評価  
テーマ：各研究グループが自由に設定  
備考：技術移転部門、インキュベーションが充実  
※KPI：論文掲載数、企業からの研究収入、スタートアップ企業数、博士課程研究員数等

### パートナー大学

（ゲント、ルーベン、ブリュッセル、アントワープ）

国内外の大学・研究機関  
と民間企業との橋渡し

### IWT（フランダース科学技術活用イノベーション促進機構）

役割：科学技術の推進支援のため研究費の拠出機関  
予算：3.5億ユーロ（全て政府からの補助金）  
体制：実行委員会、研究プロジェクト外部部門、イノベーション部門、調整部門、財務・人事・法務等  
評価：平均4年（2～5年）ごとに目標達成度で評価  
条件：企業と研究機関または大学の共同申請で一定額は応募者負担（農業は90%まで助成）  
テーマ：応募者が設定（ボトムアップ型）

委託・共同研究の  
依頼・実施

橋渡しの  
相談

研究資金提供 ↓

↑ 応募提案

### 民間企業（国内／海外）

委託・共同研究の実施、会員イベント等への参加、ネットワーク化の促進等

橋渡しの  
相談